

令和 4 年度全国高等学校総合体育大会 第 72 回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会 実 施 要 項

主催	公益財団法人全国高等学校体育連盟 公益財団法人日本スケート連盟
共催	読売新聞社
後援	スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会 日本放送協会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県高等学校体育連盟 公益財団法人埼玉県スポーツ協会
主管	公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 埼玉県スケート連盟

1 会 期

区 分	期 日
開 始 式	令和 5 年 1 月 16 日（月） 競技開始前
競 技	令和 5 年 1 月 16 日（月）～17 日（火） 2 日間
閉 会 式	令和 5 年 1 月 17 日（火） 競技終了後

2 会 場

区 分	競技名	会 場
開 始 式	フィギュア競技	埼玉アイスアリーナ（上尾市）
競 技	フィギュア競技	埼玉アイスアリーナ（上尾市）
閉 会 式	フィギュア競技	埼玉アイスアリーナ（上尾市）

3 競技種別

男 子	シングルスケーティング
女 子	シングルスケーティング

4 競技日程

期 日	競技種目
令和 5 年 1 月 16 日（月）	女子予選 男子予選
令和 5 年 1 月 17 日（火）	女子決勝 男子決勝

5 競技規定

令和 4 年度(公財)日本スケート連盟（以下「日本スケート連盟」という）
競技規則・規定並びに本大会要項によるほか、(公財)全国高等学校体育連盟
(以下「全国高体連」という）スケート専門部規定による。

6 競技方法

(1) 競技は予選、決勝方式により行う。

【予選】男子クラス・女子クラスともにショートプログラムにより行う。

ISU 規程（ジュニア）に準ずる。

【決勝】男子クラス・女子クラスともにフリースケーティングにより行う。

ISU 規程（ジュニア）に準ずる。

(2) 選抜方法

ア 男子クラスは予選の得点の上位 12 位までの選手が決勝に進出する。

イ 女子クラスは予選の得点の上位 18 位までの選手が決勝に進出する。

(3) 採点方法 ISU ジャッジシステムで行う。（オンライン予定）

(4) 滑走時間 予選 ショートプログラム （2 分 40 秒±10 秒）

決勝 フリースケーティング （3 分 30 秒±10 秒）

(5) 成績

ア 個人成績

決勝進出者については、予選の得点と決勝の得点の合計点により個人順位を決定する。同点の場合は、フリースケーティングの得点が高い選手を上位にする。

決勝へ進出できなかった者については、決勝進出者の最後の順位に続けて、予選の得点により個人順位を決定する。同点の場合は技術点の高い者を上位とする。

イ 総合成績（学校対抗）

個人順位の逆転法により個人に順位点を与え（最下位の順位点を 1 点とし順位が一つ上がるごとに 1 点ずつ加点していく）、順位点を学校別に集計し、総合順位を決定する。ただし、同点の場合は個人順位の上位者のいる学校を上位とする。

7 引率・監督

(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者）も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都道府県高体連に事前に届け出る。

(2) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

ただし、各都道府県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うものとする。

(3) 補足事項

ア 引率責任者は監督を兼任し、当該校の職員とする。ただし、やむを得ない事情により当該校の職員が引率できない場合は、当該学校長から委嘱された他校の職員が引率することができる。その際は申込時に委嘱状の写しを添付すること。

イ コーチ（インストラクター）は、当該学校長が認める指導者とし、当該学校長から委嘱された外部指導者も認める。その際、引率責任者と十分な打ち合わせをすること。

ウ 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

8 参加資格

(1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。

(2) 選手は、各都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該実施要項により全国大会の参加資格を得たものに限る。

ただし、都道府県高体連に専門部が設置されていない種目については、加盟校の生徒であることとする。

※（各都道府県スケート連盟を通じて日本スケート連盟に登録された者であること）

(3) 年齢は、平成15（2003）年4月2日以降に生まれた者とする。

ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での同一競技出場は1回限りとする。

(4) 同一学校であってもチーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の2年間に限り合同チームによる大会参加を認める。

(6) 転校、転籍後6ヶ月未満の生徒は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。

ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があれば、この限りではない。

(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する各都道府県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

ア 8の(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加を満たし、かつ所属する各都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定にしたがい大会参加を認める。

イ 8の(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は同一競技3回限りとする。

[大会参加資格の別途にさだめる規定]

1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。

イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあつては学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。
また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。

ウ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟から出場が認められ全国大会への出場条件が満たされていること。

エ 各学校にあつては、部活動が教育の一環として、日常的継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し守るべき条件

ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申し合わせ事項等にしたがうとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

9 参加制限

男子、女子共にバジテスト7級取得者。出場選手数は男子 24 名、女子 36 名を最大とする。

選抜方法は次の通り定める。

(1) 令和4年8月30日までに「7級選手事前エントリー(参加意思確認調査)」の提出を参加資格の前提とする。

(2) (1)の中で、日本スケート連盟特別推薦選手を決定する。条件は次のとおりとする。

① 令和3年度の全国高等学校スケート競技選手権大会フィギュア競技6位以内。

② 令和3年度的全日本フィギュアスケート選手権大会24位以内。

③ 令和3年度的全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会12位以内。

④ 令和3年度の全国中学校スケート競技会フィギュアスケート競技3位以内。

⑤ その他、日本スケート連盟フィギュア委員会が推薦する選手。

※ ただし参加制限(5)の条件により、上記推薦選手が1校に3名以上所属している場合には、各校にて選抜を行い、正選手3名、補欠1名とする。

- (3) 上記(2)の選手の他、令和4年度開催の日本スケート連盟主催の6つのブロック大会（東北北海道・関東・東京・中部・近畿・中四国九州）のシニア・ジュニアのショートプログラムのスコアをもとに選抜する。（当該大会に参加免除選手の場合は、派遣された大会でのショートプログラムのスコアを参考とする）
- (4) 開催県の高等学校在籍者には、上記(2)(3)の基準にかかわらず、男女とも7級取得者最大3名までの参加を認める。ただしこの場合も大会出場選手上限数に変更はない。
- (5) 出場は1校男女それぞれ選手3名。補欠1名以内とする。補欠との選手変更は予選滑走順抽選までに文書で届け出た場合のみ認める。
- ※ 大会出場選手の発表は令和4年10月20日を目途に行う予定である。
- ※ 大会出場選手が令和4年11月30日までエントリーを取り消した場合、繰り上げて選抜する場合があるので、エントリーを取り消す場合には選手はすみやかに実行委員会まで連絡のこと。

10 参加申込み

ア 全国高体連スケート専門部のホームページからフィギュア競技申込み用ファイルをダウンロードして書類を作成し、各都道府県申込み責任者に提出のこと。同時に、ファイル名を〇〇県〇〇高校とし、19の問い合わせ先へメール（2023interhi.figure.saitama@gmail.com）にて添付送信すること。

メールに添付するもの

- ① プログラム掲載用写真（個人写真、縦長）→〇〇県〇〇高校〇〇〇〇（選手名）.jpg
- ② 【様式G】 学校別申込書
当該学校長から委嘱された他校の教職員が引率する場合は、委嘱状の写しを添付する事。
- ③ 【様式F1-1】 フィギュア競技出場申込書（男子）
【様式F1-2】 フィギュア競技出場申込書（女子）

申込締切 電子メールでの送信、令和4年12月15日（木）必着。

イ 各都道府県申込責任者は参加校の関係書類を確認の上、全国高体連スケート専門部ホームページ内、フィギュアスケート申込み書類（様式P）をダウンロードして書類を作成し、参加校の書類と合わせて所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。

※ 各都道府県申込み責任者から郵送にて送られる申込書類は、発送記録が残る方法（書留等）で行い、令和4年12月1日（木）～25日（日）までに全国高体連スケート専門部フィギュア委員会必着。

※ 個人情報の取り扱いについて

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとしこれ以外の目的に利用されることはありません。

※ 他に各選手は「演技予定要素リスト」を令和5年1月6日（金）までに JSF マイページ (<https://www.skatingjapan.jp/mypage/>) の競技会参加申込サイトからオンライン登録の事。

11 参加料 4,500 円 ・ 協力金 10,000 円

- ・今年度に限り各校で振込みのこと。（補欠選手の参加料の徴収はしない）
- ・納入は申し込みと同時にすること。参加の取り消しがあっても返金はない。
- ・プログラム 1 部 1500 円で販売する。代金は参加費等と同時に納入すること。
- ・報告書は 1 部 2000 円（送料含む）で販売する。購入を希望する学校は代金を参加費等と同時に納入すること。

・振込先

指定銀行	埼玉りそな銀行	上尾支店（サイタマリソナギンコウ アケオシテン）
預金口座	店番 3 7 7	普通 口座番号 4827525
口座名義	令和4年度全国高等学校総合体育大会 第72回全国高等学校フィギュアスケート競技選手権大会 スケート専門部フィギュア競技委員長 西村尚美	

12 表彰

- (1) 男女別に総合（学校対抗）6 位までに賞状、優勝校には、全国高体連会長杯、文部科学大臣杯、日本スケート連盟杯（以上持ち回り）、NHK 杯及び読売新聞社杯を授与する。
- (2) 男女別に個人 8 位まで賞状、3 位までに入賞メダルを授与する。

13 宿泊・弁当

幹旋は行わない。各自手配すること。

14 輸 送

計画輸送は行わない。各校で移動計画を立てること。

15 医療救護

医療救護については、競技中の応急処置のみとする。医療機関等については事前に調べておくこと。

16 諸会議

名 称	日 時	会 場
引率責任者（監督）会議	令和5年1月15日（日） 15時から	ZOOMにて開催予定

17 滑走順抽選

滑走順は運営委員会にて事前に委員が抽選し、全国高体連スケート専門部のホームページに掲載する。（令和5年1月上旬予定）

18 個人情報及び肖像権に関わる取扱について

別に定める。

19 留意事項

- (1) 諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨をメールにより問合せ先に連絡すること。
- (2) 引率責任者（監督）は選手のショートプログラム競技で使用する音楽録音媒体を会場に来場し次第、大会受付に提出すること。
また競技出場者は大会期間中、フィギュアスケーティングバッジテスト受験者手帳を携帯していなければならない。
- (3) フィギュアスケート競技で使用する音楽録音媒体は CD とする。音楽媒体には、学校名・選手名を明記すること。（シール等を媒体に貼付しないこと）。また万一に備えて、予備の CD を必ず用意しておくこと。
- (4) 貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

【 問合せ先 】

全国高等学校体育連盟スケート専門部フィギュア委員長
埼玉県スケート連盟フィギュア部長
〒 330-0054
埼玉県さいたま市浦和区東岸町 10-36
浦和麗明高等学校 西村 尚美
メール：2023interhi.figure.saitama@gmail.com